

# バクテリア de キエーロの使い方

## 【バクテリアdeキエーロの特徴】

バクテリアdeキエーロは土の上に置いて使用し、土の中の微生物の力で生ごみを分解・消滅させる生ごみ処理容器になります。生ごみは土の中に投入するため、虫や臭いが発生しにくいです。また、木製のため、そこまで景観を損ねません。キエーロ内で土が増えることはありませんが、養分を含むため、堆肥の代わりに利用することもできます。

## 1 使用開始前・設置

- 設置場所は、日当たりや風通しの良い場所が適してします。土の温度が高くなると微生物の活動が活発になり、ごみの分解が早くなります。
- 黒土を約100ℓ、シャベル（長さ70cm程度のもの）をご用意ください。

## 2 使用方法

- 穴を20cm程度掘り、生ごみを投入します。穴が浅いと、生ごみの臭いや、虫が寄ってくる原因になります。
- 掘った土を少し穴に戻し、生ごみと見分けがつかなくなるまでよくかき混ぜます。土と触れ合うことで生ごみの分解が進みます。
- シャベルで切るようにすると、生ごみをさらに細かくすることで、分解が早くなります。
- 上から掘った残りの乾いた土を被せ、生ごみを完全に覆います。臭いの防止や、虫の発生を防げます。
- 埋める場所（最大6か所）を変えながら順番に作業を繰り返します。一巡した頃には、最初の生ごみは消えています。

## 3 ワンポイントアドバイス

- 生ごみはできるだけ細かく切って入れると分解が早くなります。
- 汁物や腐ったもの、カビの付いた生ごみなども投入できます。
- 前回埋めた場所も空気を入れるようにしてかき混ぜると分解が早くなります。
- 分解するまで、夏場は5日、冬場は2週間ほどかかります。
- 生ごみは3～4日貯めてから埋めると、場所をうまく使用できます。その場合、フタ付き容器（ステンレス製がおすすめ）に保管しておきます。ただし、肉や魚など臭いが気になるものはすぐに埋めても構いません。
- 水分の多い生ごみの投入が多かったり（特に夏場）、かける土が濡れていたり、かける土の量が少なかったりすると、においや虫の発生がしやすくなります。
- 米ぬかや廃食用油は発酵を促進させる効果があります。